

令和5年発

にしき福祉相談センター かわら版

第11号2023年7月

メール相談

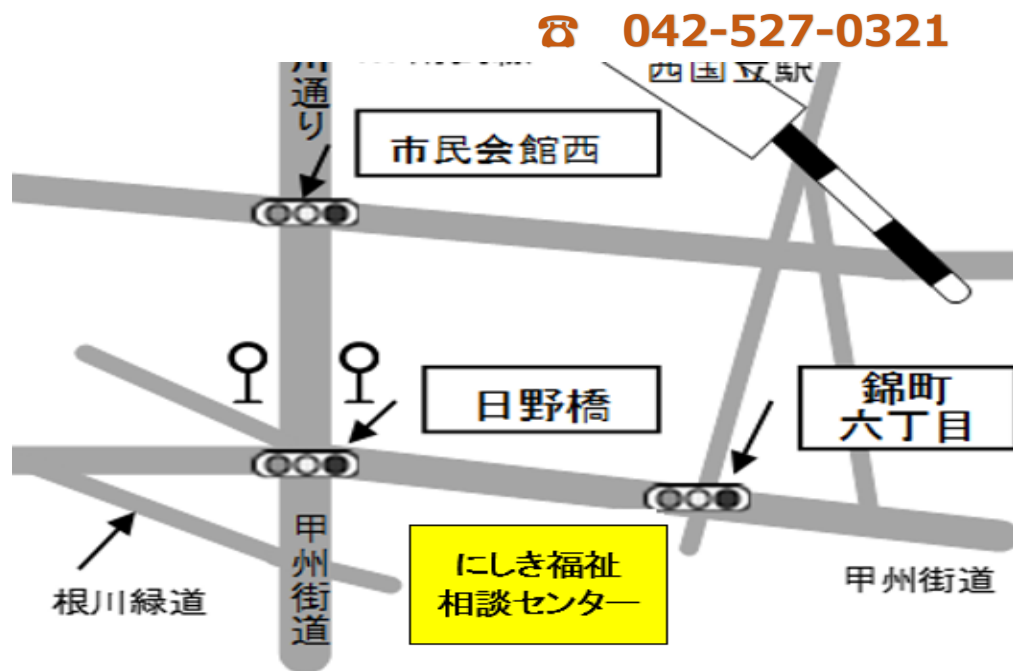
24時間365日送信が可能です。返信は開所時間内になります。お気軽にご利用下さい。

開所時間：月曜日～土曜日 午前9時～午後5時

にしき福祉相談センターのメールアドレス

s-nishiki@shisei.or.jp

にしき福祉相談センター地図



耳より情報

6月25日発行の広報たちかわでも紹介されました「スマホ活用での困りごとへのサポート支援」についてあらためての紹介です。

スマホの活用をサポート

立川市では日本郵便株式会社と連携し、お手持ちのスマートフォンを活用するための6つの支援サービスを始めました。

①メールの作成方法②インターネットの検索方法③オンラインによる行政手続き申請④LINEアプリのインストール支援⑤市公式LINEアカウントの登録支援⑥ごみ分別アプリのインストール支援と粗大ごみ収集受付サイト案内

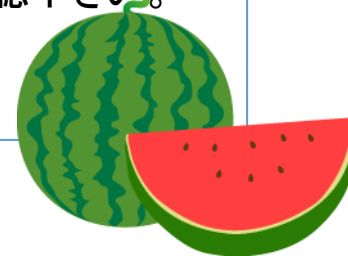
錦町エリアでは、立川市錦町四郵便局がサポートサービスを行っています。土曜日・日曜日・祝日を除く午前9時～午後4時 一人30分程度です。直接、または電話で予約をしてください。スマホは持参です。

錦町四郵便局：錦町4-11-18

電話番号 042-522-9854

にしき福祉相談センターでも今秋、年明けにスマホ教室を開催予定です。市の広報で確認下さい。

答え)①犬がくわえている花 ②犬の足 ③草 ④猫の体の柄 ⑤鳥のとさか
⑥ねずみのしっぽ





ACP てなに

今回はACPIについて事例を交えて説明していきます。

Aさん 一人暮らしの母と話さきっかけがない
母が脳梗塞で倒れた。今は回復して一人で暮らしている。再発が心配だけど・・・話し合うきっかけが見つからない・・・

まだまだ親が元気だと、話あうきっかけが見つかりません。例えば、テレビで介護のことが取あげられたとき、ご近所の方が亡くなられたときなどをきっかけに話あってみましょう。最初は「世間話」からでもOKです。

その後について・・・

私と母は、身近に起こりうる変化について、改めてかかりつけ医から説明を受け、これからどんな生活ができるか、今後のことについて考え、話合っていました。



状況や病状が変わったときには

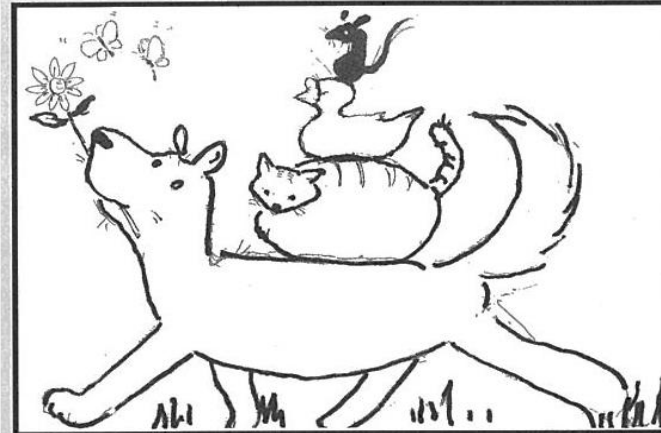
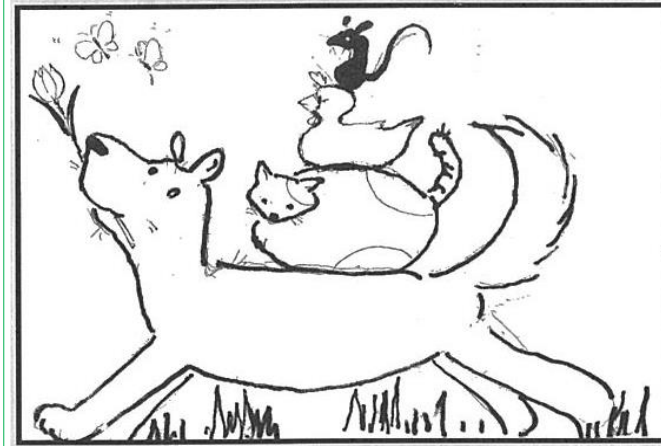
Aさんの母は。「これからも自宅で過ごしたい」と話していますが、身体機能の衰えや変化に応じて、これまで周囲に話していた思いや希望が変わることはよくあります。身体や病状の変化のたびに、思いや希望について話合うことが必要です。

参考

ACPは家族とだけ行うものではありません。友人や近所の人、かかりつけ医などと話合っていて考えていくこともACPです。

出典：東京都「わたしの思い手帳」2021

ホットとひと息



6つのちがいを
探しましょう。
ゆっくり探して
みてください。

ちがいを探しの答え
は前のページにあ
ります

編集後記

連日猛暑が続きますが、梅雨明け宣言はまだのようです。冷感グッズを活用し夏バテを予防しましょう。(M/M)

